【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【公開番号】特開2002-267933(P2002-267933A)
【公開日】平成14年9月18日(2002.9.18)
【出願番号】特願2001-70805(P2001-70805)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　21/00　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　21/64　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　21/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　21/00
Ｇ０１Ｎ　21/64　Ｅ
Ｇ０２Ｂ　21/06

【手続補正書】
【提出日】平成20年3月10日(2008.3.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】レーザ光を発生するレーザ光源と、
前記標本へ照射される前記レーザ光源からのレーザ光と、前記標本からの光を分離する特性を有し、光路に対して選択的に切換え可能な種類の異なる光路分割手段と、
前記光路分割手段で分離した前記標本からの光を結像する結像レンズと、
前記標本からの光を基に分光データを取得する分光ユニットと、
前記標本からの光を前記分光ユニットに導く光ファイバと、
前記光ファイバ端面が前記標本と共役の位置に固定され、光軸に対して直交する面で前記光ファイバ端面を移動可能な移動手段とを具備したことを特徴とするレーザ顕微鏡。
【請求項２】前記レーザ顕微鏡は、
前記光路分割手段の切換えに応じてずれる前記光ファイバ端面の中心位置と前記結像レンズの結像位置を一致させるために前記移動手段を制御する制御手段をさらに備えていることを特徴とする請求項１記載のレーザ顕微鏡。
【請求項３】前記制御手段は、
前記光路分割手段の切換えに応じてずれる前記光ファイバ端面の中心位置と前記結像レンズの結像位置を一致させるための補正情報を予め記憶し、
この補正情報に基づいて前記光路分割手段の切換えに応じて前記移動手段を制御することを特徴とする請求項２記載のレーザ顕微鏡。
【請求項４】前記移動手段は、
前記光ファイバ端面の直前で、且つ前記標本と共役な位置に共焦点ピンホールをそれぞれの中心が一致するように設けられており、
これらは一体的に前記光路分割手段の切換えに応じて移動可能であることを特徴とする請求項２記載のレーザ顕微鏡。
【請求項５】前記光ファイバは、
前記光ファイバ端面に入射する光の開口数ＮＡと波長λとにより決まる回折径（１．２２＊λ／ＮＡ）と概略同一、又は前記光ファイバ端面に入射する光の開口数ＮＡと波長λとにより決まる回折径（１．２２＊λ／ＮＡ）より小さいコア径を有することを特徴とす

る請求項１記載のレーザ顕微鏡。

【請求項６】前記光ファイバは、シングルモードファイバであることを特徴とする請求項１記載のレーザ顕微鏡。

【請求項７】レーザ光を発生するレーザ光源と、

前記標本へ照射される前記レーザ光源からのレーザ光と、前記標本からの光を分離する特性を有し、光路に対して選択的に切換え可能な種類の異なる光路分割手段と、

前記光路分割手段で分離した前記標本からの光を結像する結像レンズと、

前記標本からの光を基に分光データを取得する分光ユニットと、

前記標本からの光を前記分光ユニットに導く光ファイバと、

前記結像レンズによる前記標本からの光の結像位置を、前記光ファイバの入射端面に対して移動可能にする移動手段とを具備したことを特徴とするレーザ顕微鏡。

【請求項８】前記移動手段は、前記結像レンズを移動可能にすることを特徴とする請求項７のレーザ顕微鏡。